



- ▶職種：学校事務職
- ▶係長歴：2年目
- ▶採用後昇任までの経歴：滝ノ水中学校（採用・1年）→津賀田中学校（5年）  
→村雲小学校（4年）
- ▶昇任後経歴：令和4年4月～ 教育委員会事務局 村雲小学校 主査  
令和5年4月～ 教育委員会事務局 汐路中学校 主査

#### 【現在の仕事】

配置校における事務改善に加え、学校事務センター主査として各学校を巡回し、学校事務職員への支援・指導や管理職への学校事務に関する助言を行っています。また、全市的な立場から、学校事務改善の企画調整に携わっています。

## 適切な学校事務のため、わかりやすい支援を大切に

### 一係長をめざしたきっかけは？

令和3年度に受験しました。コロナ禍に、いろいろと考えることが増え、自分のキャリアについても見つめ直すことができました。今後のキャリアの選択肢に、本市職員以外への転職もありましたが、校長先生より昇任選考を受けてみたらと声をかけていただき、一段高いキャリアへのステップアップも一つかなと思えるようになり、せっかくだからと選考を受けることにしました。

実際に、勉強してみると、自分の仕事に活かせることだったり、市職員として知っておいた方がいいことだったり、学校事務職員としての立場だけではわからなかったことを知ることができたのは、良かったと思います。

### 一係長職として大切にしていることは？

学校事務職は、学校の規模にもよりますが、学校1校に対し事務職員の配置は1人のところがほとんどです。学校内で1人で仕事を抱え込んで、困ってしまうことのないよう、担当区の学校への巡回指導の際には話をしっかり聴いて気兼ねなく質問や相談をしてもらえるような関係づくりを心がけています。

また、巡回指導の際には、各学校の校長先生や教頭先生ともお話をします。学校事務の適正化に向けた助言など、分かりやすい説明を心がけています。学校事務の主査は各学校の事務が円滑に、適切に行えるよう、教育委員会と学校現場をつなぐ、架け橋的な存在でもあります。大事なことは押さえつつ、学校現場の声も大切にしています。

### 一係長職の魅力は？

係長級昇任以前は、本当に学校の中のことだけしか知らず、昇任して初めて、知らなかった世界が広がりました。視野が広がり、全市的な立場で物事を考えて幅広くさまざまな業務をすることになり、難しさや大変さもありますが、面白さもあります。

いろいろな知識や情報が入ることにより、自分自身のステップアップにもつながっていますし、多くの方と接する機会が増えて、やりがいも楽しいです。

働き方改革や学校DX推進などの追い風もあり、新しいことにも積極的にチャレンジできる環境だと思っています。

### 一これから係長を目指す職員へメッセージを！

経験年数や「自分は向いていない」という思い込みに囚われず、新しいことにチャレンジしたい、もっと良くしたいという前向きな気持ちが少しでもあれば、思い切って係長昇任選考を受験してみてください。業務の幅が広がるのは苦勞も伴いますが面白さややりがいは、それ以上かなと思います。係長職について漠然とした不安を感じる方もみえると思いますが、前向きにチャレンジして、自分の世界を広げてみませんか。



訪問事務指導の様子（手前側：木町主査）

## ある一日の仕事

※学校の勤務時間は8:15～16:45

- 8:15 配置校に出勤、メールチェック等
- 10:30 所内打合せ（学校事務センター）  
※研修企画に関する業者との打ち合わせ、企画調整（必要に応じて関係課とも調整）
- 11:00 所長説明※企画内容の事前説明
- 11:30 日程調整、電話相談等  
※巡回訪問前に、訪問校のスケジュールや質問・課題等の確認
- 13:30 支援対象の学校を訪問  
※経験年数の浅い事務職員を対象に訪問による個別指導を実施。法令や規則に基づく事務処理の確認、PC操作の支援及び個別指導の内容を管理職と共有
- 16:00 配置校に戻る  
指導内容等の記録整理
- 16:45 退勤